

送信条件: 9600bps、パリティ無し、8bit、ストップビット1bit

コマンドの構成
送信コマンド

P I C : 0 CR

コマンドの最後にはCRコード(0Dh)を置きます
 パラメーター: 設定するパラメーターなどを置きます。
 コマンドとパラメーターの間には、「:」を置きます。
 コマンド: 英文字3文字のコマンドを置きます。(小文字は不可)
 ヘッダー: 先頭には必ず「#」を置きます。

リターン(正常時)

= P I C : 0 CR

コマンドの最後にはCRコード(0Dh)が入ります。
 パラメーター: 調整・設定系コマンドでは実際に調整・設定された値が入ります。
 実行系コマンドでは、「SC0」の文字が入ります。
 コマンドとパラメーターの間には、「:」が入ります。
 コマンド: 実行したコマンドが入ります。
 ヘッダー: リターンの先頭には「=」が入ります。

リターン(エラー時) = E R 0 CR

設定コマンド

値を指定するとき

P I C : 1 CR

設定したい値を置きます。

実行コマンド

P O F CR

リターン(正常時)

= P O F : S C 0 CR

情報取得コマンド

S P S CR

リターン(正常時)

= S L T : 3 H 1 5 M CR
 = S S V : B 0 2 - M 0 5 - L 0 1 CR

時間を表すときは、「3H15M」(3時間15分)の形式でリターンします。
 DDP、MCU、LANバージョンの順番でリターンします。

<注意>

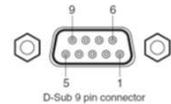
電源オフ時のコマンドには、以下の制限があります。
 電源オフ時には、PON、SPS、SERコマンドのみを受け付けます。
 電源オン・オフ時などに、コマンドに対するリターン以外の文字が出力されることがあります。
 PCとの接続には、市販のストレート結線のケーブルをご使用ください。

TELNETのサポート

TELNET標準ポート(TCP:23)によるコントロールも本コマンドにより可能です。
 スタンバイ時に使用する場合は、「設定」→「ネットワーク(スタンバイ)」を「入」にしてください。

コネクタ端子配置図

ピン番号	
1	NC
2	送信データ
3	受信データ
4	NC
5	GND
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC



コネクタタイプ: オス

NC-何も接続しないでください

	コマンド	基本コマンド 実行または 設定値取得	パラメーター指定 [Prm]にはパラメー ターを設定。	設定できるパラメーター 調整値の範囲	備考
実行コマンド					
電源オン	PON	#PON[CR]			
電源オフ	POF	#POF[CR]			
設定コマンド					
映像モード	PIC	#PIC[CR]		0~4	
高輝度=0			#PIC:0[CR]		
標準=1			#PIC:1[CR]		
sRGB=2			#PIC:2[CR]		
ビビッド=3			#PIC:3[CR]		
DIGOM SIM=4			#PIC:4[CR]		
アスペクト	SCS	#SCS[CR]		0~3	
Normal=0			#SCS:0[CR]		
4:3=1			#SCS:1[CR]		
16:9=2			#SCS:2[CR]		
16:10=3			#SCS:3[CR]		
設置状態	PJM	#PJM[CR]		0~3	
標準=0			#PJM:0[CR]		
背面=1			#PJM:1[CR]		
天吊り=2			#PJM:2[CR]		
背面天吊り=3			#PJM:3[CR]		
自動電源オフ	NPF	#NPF[CR]		0~3	注1
Off=0			#NPF:0[CR]		
30min=1			#NPF:1[CR]		
20min=2			#NPF:2[CR]		
10min=3			#NPF:3[CR]		
5min=4			#NPF:4[CR]		
自動入力検索	AIS	#AIS[CR]		0~1	
切り=0			#AIS:0[CR]		
入り=1			#AIS:1[CR]		
電源オン方法	APM	#APM[CR]		0~1	
手動=0			#APM:0[CR]		
自動=1			#APM:1[CR]		
ランプパワー	LPM	#LPM[CR]		0~2	
標準=0			#LPM:0[CR]		
ECO=1			#LPM:1[CR]		
Image ECO=2			#LPM:2[CR]		
テストパターン	DTP	--		0~2	設定値取得はできません。
Off=0			#DTP:0[CR]		
Grid=1			#DTP:1[CR]		
White=2			#DTP:2[CR]		
NCE (カラーエンハンサ)	CES	#CES[CR]		0~1	
切り=0			#CES:0[CR]		
入り=1			#CES:1[CR]		
AVミュート	MUT	#MUT[CR]		0~1	
切り=0			#MUT:0[CR]		
入り=1			#MUT:1[CR]		
フリーズ	FRZ	#FRZ[CR]		0~1	
切り=0			#FRZ:0[CR]		
入り=1			#FRZ:1[CR]		
入力切替(ダイレクト)	INP	#INP[CR]		0~3	
コンピューター=0			#INP:0[CR]		
HDMI1=1			#INP:1[CR]		
HDMI2/MHL=2			#INP:2[CR]		
ビデオ=3			#INP:3[CR]		
調整コマンド					
音量	VVL	#VVL[CR]	#VVL:[Prm][CR]	0~20	
レーザー電力(通常時)	LPN	#LPN[CR]	#LPN:[Prm][CR]	50~100	注3
情報取得コマンド					
動作状態	SPS	#SPS[CR]			0:スタンバイ 1:投影準備中 5:通常オン 7:冷却中 9:エラーによるシャットダウン
信号入力	SIS	#SIS[CR]			0:コンピューター1、1:HDMI、2:HDMI2/MHL 3:ビデオ、S:検索中、E:その他
エラー	SER	#SER[CR]			注2
レーザー時間	SLT	#SLT[CR]			=SLT3H15M(3時間15分)の型でリターンされます。
ソフトウェアバージョン	SSV	#SSV[CR]			DDP.MCU.LANの順でバージョンがリターンされます。

注1) 本体OSD MENUで無信号電源OFFを5/10/20/30分以外に設定をすると、#NPF[CR]を送った時にエラーが返されます。

注2) EWOSの文字の組み合わせでリターンします。W:警告、O:正常、E:その他エラー(本機ではWの状態はありません)

各文字は右の状態を表します 1文字目:光源、2文字目:ファン、3文字目:温度、4文字目:CW

(例) "OE00" ファンエラー

注3) レーザー電力モードが「標準」のときのレーザー電力を設定します。レーザー電力モードが「標準」以外に設定されているとエラーを返します。